

平成29年度第5回 名張市地域公共交通会議 事業推進部会 議事概要

日時 平成30年1月31日（水）

午後1時00分より

場所 名張市役所 404会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 准教授）  
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）  
姫野 光子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）  
寺岡 正和 （名張市保育所（園）保護者会連絡協議会会長）  
藤本 勝 （市民公募）  
木寺 正仁 （市民公募）  
都志見 耀代 （市民公募）  
田中 明子 （名張市地域環境部部長）

（3）事務局

都市整備部都市計画室4名

1. 開会

2. 議事

（1）コミュニティバス利用環境の改善について

①コミュニティバス停留所の共通仕様について

（事務局より資料をもとに説明）

委員 2つあります。1つ目は、今後コミュニティバスは増えていく傾向にあるのか、現状維持なのか、今後このガイドラインが新設の路線に活用されるということはあるのかをお聞きしたいと思います。もう1点、同じ場所で停留所名が違うという問題について、どれを選択するのはガイドラインでは示さないのかという点についてお聞きします。

事務局 1点目、新設への対応についてですが、「名張市地域コミュニティ交通推進方針」では、あと赤目地区を公共交通が必要な地域として定めています。ですので、新設としては赤目地区がありえるかと思えます。また、連携協議会においてコミュニティバス全体の再編についても考えていただいていますので、既存路線の走り方や地域を越えた枠組みがあると、新設、変更等が想定されると思います。2点目に、何に統一していくのかというお話がありましたが、最も統一がされていないのは桔梗が丘駅で、見ていただいた通り駅の出口の表示も違いますし、バス停の名称も違います。このガイドラインは、事業推進部会から本会議の方へ提案させていただいて、公共交通会議としてのガイドラインとなります。そうすると、これに基づき事業者さんが所属している連携協議会の方に預けるといふかたちになりますので、そこで皆さんに一番なじみのある名称を検討していただくこととなります。

- 委員 前向きに検討していくという中で、以前委員の方が言っていたように例えば、「木屋町」というバス停があった時、それを「イオン前」に替えるというようなことはこのガイドラインに入れないのですか。
- 事務局 事務局としても、バス停の名称を決めるにあたってのルールにどのようなものがあるのかというのを検討したのですが、市役所の前のバス停でも、「市役所」、「市役所前」という表現があったり、ほかには地名と施設名があったりと、ここはネーミングライツにも及ぶ話ですが、その名前の付け方も連携協議会で検討いただくことになると思います。
- 部会長 それは議論して決めていかないといけないと思います。
- 事務局 ガイドラインでは示しにくいので、それはガイドラインを預けた先の連携協議会の方で一番わかりやすい名称になるように議論していただこうと思っています。
- 委員 ここでもう少し議論してから、連携協議会の方にあげるべきではないでしょうか。ここには市民公募の委員さんもいますし、その中でどのようなネーミングにしていくかということは、関心も高いと思います。ですので、事業を行う連携協議会の方だけの話ではなく、事業推進部会で利用者目線に立ったネーミングについて考えた方がいいと思います。そこに事業推進部会の意義があると思います。
- 部会長 そうですね。私も少し考えてから出した方がいいと思います。先ほどお話に出たネーミングライツの件ですが、例えばイオンさんが「イオンの前にあるバス停をイオン前にしてほしい、そのかわり協賛金をいくらか出します」ということを含めてやっていくのかということも考えていかないといけないと思います。名張市さんは地方都市といっても人口はたくさんいますが、もっと田舎に行くと、「バスが来るのがわかりやすいので、個人宅の名前をバス停にしてほしい」と言って、寄付金をいただいているところもあります。そういったように、協賛金をいただければバス停に協賛者の名前をつけるというのもあると思います。今はコミュニティバスしか考えていませんが、三重交通さんのバスとかぶっているようなところもあると思いますので、そこを三重交通さんとどう議論していくのかということのも大事だと思います。
- 委員 駅や市役所など乗り継ぎの拠点の名称は統一する必要があると思います。
- 部会長 少し気になったところが、表示する文字を日本語だけにするのか、あるいは英語表記も入れるのかということと、バス停の番号を決めて入れるのかということです。海外の方はバス停を番号で見るので、それを入れれば英語表記はいらないのかもしれませんが。その辺をまた皆さんで考えてもらえたらと思います。
- 委員 英語表記について、アルファベット表記だと思うのですが、漢字など市内に住んでいても読めないものがあるので、ふりがなという意味でも英語表記は使えると思います。また、工業団地の外国人労働者の方にも有効なものだと思います。今は私鉄などの公共交通は番号が付けられているものなのですか。
- 部会長 鉄道のほとんどはそうですね。バスはあるところの方が少ないです。
- 委員 英語表記は、三重交通が昨年からは英語表記に切り替えています。ですので、統一という意味では三重交通のバス停には英語表記がありますので、できれば入れた方がいいと思います。もう一点、現在市内でいろいろなカラーのコミュニティバスが走っていて、市外から来た人にもわかりやすいように市内のコミュニティバスの路線図とバス停、バスマップにもそれぞれ

れの車体の色を入れるといいと思います。

委員 せっかくバス停の表示に空いている部分があるので、各コミュニティバスのインシャルをとって先程の番号と合わせて入れると統一された表記にもなると思います。

委員 乗継拠点の大型掲示板についてですが、これはどこに設置するのでしょうか。設置することで向こう側が見えなくなるので、壁に貼るのであればいいと思いますが。また、設置場所について今想定されるのは名張市役所、桔梗が丘駅、名張駅でしょうか。

事務局 今のところその3か所を想定しています。

部会長 もし路線図が変更になった場合に差し替えをどうするのかというのも難しいと思います。シールで上から貼っているとところもありますし、大きいものだと電子掲示板だと高くなりますしね。

事務局 実際に設置をするとなると、電子にするか大きいものにするかなどあると思いますが、議題の2番目でもご提案させていただこうと思いつているのですが、特に市役所の乗り場には待合所があるのですが、インフォメーション機能はございません。風雨をしのぐ場所のみの機能ですので、コミュニティバスの情報やイベント情報などを発信できるような場にしたいと思っております。設置の方法についても、駅で降りた方へのアナウンスなのか、バスから降りた方へのアナウンスなのか、それともバスに乗らない方により積極的にアピールするものなのか、ものによっては媒体も変わるとは思います。そのあたりも検討課題として、どういった情報を誰に向けて発信していくかについても議論していきたいと思っております。

委員 とある駅のバスターミナルが新しくとても広いものになっていて、いざ自分の目的地に行こうとすると、それぞれの路線の案内はあるのですが、自分の目的地に行くにはどのバスに乗ればいいのか分かりませんでした。全路線網の中で経由地なども一目でわかるような案内があれば、わかりやすかったと思います。

先程の話から、本部会でバス停の状況について現地確認を行った際に、名張駅の東口に滝の絵がありましたが、そちらに設置すればわかりにくさは解消されると思います。バスを利用される人の目線に立った時に、バス停に近いところに、どこに行くにはどの路線番号なのかが示されていると乗継拠点で迷わなくなるとは思いました。

委員 目的地に行くという話ですが、コミュニティバスの場合、地域の方が使うと思いますので、普段は個々の時刻表や路線図で事足りると思います。大きな掲示板は費用も掛かりますし、置く場所にも配慮が必要だと思います。それに、大型掲示板と同じ内容の地図等も入ったパンフレットを配ることで、代用できて経費削減にもなるのではないかと思います。

委員 お金がかかるかもしれませんが、音声案内で「次来るバスは〇〇行です」といった案内をするのがいいと思います。案内板を見ても読み取ることが出来ない方もいると思います。目の不自由な方やお年寄りだけでなく、皆にとって音声案内は判断しやすく間違いにくいと思います。大都市では導入していると思いますが、名張のような地方都市ではできるかわかりませんが。

委員 観光に合わせて考えて、パンフレットなどを作り、案内する人を置けばいいと思います。音声案内やパンフレットよりも人を置くことで、ユニバーサルデザインにも配慮した案内になると思います。また、バス独自の案内板ではなく、観光などとタイアップして名張に来てど

こに行けばいいのかということをお願いしていくべきだと思います。

部会長 案内人を置くのが一番いいのですが、一番お金がかかります。

委員 ですから、観光などとタイアップして取り組めばいいと思います。今は公共交通単独で考えているのですか。

部会長 他と議論してもいいのですが、話がまとまらない可能性があります。主要施設であれば、外部から来る人のためにそういう情報を多少載せてもいいのですが、名張市の場合生活交通だと思いますので、観光について入れるとすれば、大型掲示板に主要な観光地などは入ると思います。

委員 観光面になるのですが、大阪からの外国人観光客などに向けて表記の工夫や周遊バスマップなどがあるといいと思います。

委員 現在、外国からの大型周遊船が四日市港に来ており、そこから県内へバスで観光に出るツアーがあります。そこに名張も乗り入れてもらえると、名張の観光地を外国に対してもアピールできると思います。今後国際的な観光地を目指すのであれば、英語表記と観光と一緒にやっていく必要があるかと思います。

また、大型の掲示板等を置くのであれば、その内容をホームページ等でダウンロードできるようにしたり、スマートフォンの地図アプリで検索できるような配慮が必要だと思います。著作権は名張市が持つと思いますので、有効活用してもらえればと思います。海外の方はスマートフォンを観光のツールとして使っている方が多いと聞きますので、作る地図と連動してほしいと思います。

部会長 そうですね。いろいろな情報を発信していく必要があります。

事務局 先程からいただいているご提案ですが、このガイドラインは、強制力はないという位置づけですが、ひとつの基準なので、ガイドライン以上のことはしなくてもいいものと思われてもいけませんので、最低限守っていただきたいことは載せたいと思っていますが、その上に、利用者への配慮や目指すべきものもあると思います。このガイドラインには、ここを目指すうえでここまでは守ってくださいというダブルスタンダード的な側面があると考えています。最低限の基準から一步踏み込んだご提案として、ルビや外国語対応や番号表記、色分け等の配慮についてまとめていきたいと思っています。

また、さきほどありましたスマートフォンとの連動ですが、名張市としてデータはウェブサイトの事業者に渡しておりますので、もうしばらくで整えはできてくると思います。さらに、検索のキーワードをいつどのくらいのアクセスがあるのかなども追っていけると思いますので、そういったことが可能であれば、インターネットを通じた利用実態の把握にも努めていきたいと思っています。

また、掲示板設置の件ですが、新たに大型掲示板を設置するというのは現実的に厳しい面があると思いますので、駅前の観光案内板にバスの要素を足していくことや、市役所前の待合スペースへのパンフレットの設置などを整えていってなるべく経費削減で、変更にも対応できるようにしていきたいと思っています。

また、停留所名についても、ネーミングライツの募集やわかりやすい名称について、事務局から次回にでも提案させていただきます。

## ②乗継拠点における利便性の向上について

(事務局より資料をもとに説明)

委員 名張駅には鉄道会社が設置した既存のバス案内表示もあるので、内容が重複する部分もあると思います。バスのマークだけではなく、行き先も文字で表記することは必要だと思います。

事務局 例えば、桔梗が丘駅はバスのマークがあるだけでどちらから何処行のバスが出ているのかわかりません。また、名張駅のバス案内表示は古い表記がそのままになっていたり、廃線になった路線はテープで隠してあったりするものもあるので、階段を降りたところで何処からのバスが出ているのかということが分かるようにするために、この表示を設置していきたいと考えています。

委員 それは鉄道会社には設置の義務はないのですか。

事務局 ありません。設置する場所の提供の承諾だけはいただいています。

委員 あららぎ号について、これはどちらかという国津に住んでいる人のためのバスですか。

部会長 そういうわけでもないと思いますが、需要の多い方に時刻等を合わせていると思います。午前であれば駅に出てくる人、午後には帰る人となっているかもしれません。

委員 もし国津の住民だけのために運行していれば乗車人数は増えないと思いますし、そうであれば車両等を小さくしてもいいのかなと思います。利用者を増やすとなるとこの現状では厳しいと思います。

委員 バス発着一覧の表はよく読まないとわかりにくいですね。

部会長 各停留所に置くとすれば、裏面の時刻表だけになると思います。そうすると到着時間も入れた方がいいと思います。また、例えば、病院に行く場合はだいたい9時くらいに着くように、買い物はスーパーが開く10時に着くようにバスに乗る方が多いので、そこは各地区さんで議論していただいて、乗り継ぎをどうしたいのかを連携協議会の方で議論していくものだと思います。

委員 これも連携協議会でのお話かと思いますが、市役所でのほっとバス錦とナッキー号の乗り継ぎがうまくいっていないと思います。これ一つとっても時刻の調整は難しい話だと思います。

部会長 そうですね。時刻表を少しずらすだけでも他に影響が出てくると思います。

委員 ナッキー号は、道路状況によって遅れることがあるので、あわせていくのも大変だと思います。

事務局 作業をしている中で、思っていたよりも多くのバスが出ていると感じました。使い方次第では決して不便な状況ではないと思います。名張駅ですと、西口をメインとして捉えがちですが、東口からもたくさんバスが出ていることがわかります。そういった状況を市民のみなさまに適切に案内していくことが必要だと思います。これをもう少し見やすくして、ポケット版や案内板として設置すればよいと思います。また、乗換は5分以内でできなくてもよいと思っています。待ち時間は駅で買い物をしたり、市役所で用事を済ませたりという時間にも使っていただけるとと思います。利用者の方にこれだけのサービスを頭に入れてもらえれば、使い方は個人で知恵を絞っていただけるとと思いますので、このバス停からここへ行けるということを上手に伝えることが出来れば、利用促進にもつながっていくと思います。よりわか

りやすくするために、所要時間、料金、その他の情報等を載せて主要乗継拠点に設置していただけたらと思います。

委員 その表を読み取ることが困難な方などのために、市役所の中にホットダイヤルのようなものを置いて、バスの乗り継ぎ等に関する電話での問い合わせに対応すればいいと思います。

部会長 津市さんがそのような取り組みをされているのですが、実際はあまり問い合わせはないそうです。

委員 しかし、その電話の存在自体を知らない場合もあると思います。

部会長 関心が無いのか、意外にみなさんあまり聞かないようです。

委員 バス停に電話番号などがあるといいと思います。

部会長 せめて市役所であれば、案内かどこかに置いていただきたいですね。

事務局 市民の方からお問い合わせもあり、コミュニティバスの時刻表と三重交通の時刻表を見比べながら調べていると時間がかかってしまいますが、このような表があればスムーズにご案内できるかと思います。

委員 これから高齢化が進み免許返納される方も増えてくると、その中で時刻表を見るにも助けが  
いる方もおられると思いますので、そういったサポートが必要だと思います。

委員 これだと乗り継ぎがうまくいかないと次のバスが2時間後という場合もあるともいます。他の市町では、乗継拠点が市役所の目の前で、そこには福祉施設も併設されているのでお年寄りの方も利用しやすくなっています。当日乗るバスを市役所のインフォメーションセンターで聞いた後、役所内で待っていると、市役所に着いたバスは、必ず次のバスを待つようになっている、そこで乗り換える方も多かったです。乗り継ぎが保証されており、2時間も待つことがないのでいいシステムだと思いました。利用者の方は乗り継ぎがうまくいかない心配もあると思いますので、安心できるようなシステムがあればと思います。

委員 連携協議会の方でもこの表が出され、最初は全然わからないという印象でしたが、乗り継ぎの現状を受けて、検討・改善していくことになったと思います。市役所の方でも、ナッキー号含めて乗り継ぎの改善案を出していただけたらと思います。乗り継ぎのバスにすぐ乗れるのもいいと思いますが、10分くらいであればトイレ等にも行けるのであってもいいと思いました。

委員 市役所のバス停は、正面玄関と議会棟の2つの乗り場があると思いますが、窓口などでその2つは分けて案内していますか。

事務局 今、バス停には案内表示がありますが市役所の中ではしていません。

委員 間違えるとバスに乗れない場合もあると思うので、案内が必要だと思います。乗り場案内はバス停には書いてありますか。

事務局 書いてありますが、大きい表示ではないです。バス停の名前は同じで、場所は違うので、名称の変更を三重交通さんをお願いしていく必要があると思います。

## (2) お出かけバスマップの作成について

- ・はたっこ号乗込み調査結果について
- ・ワークショップ（2回目）の開催について

(事務局より資料をもとに説明)

委員 はたっこ号を利用されている方は、買い物を目的としている方が一番多いですが、3月に近鉄プラザが閉店します。はたっこ号は桔梗が丘駅が発着点で、近鉄プラザがなくなることはすごく大きな問題だと思います。ワークショップでもこれについて意見が出るとは思いますが、はたっこ号をほかの買い物施設まで延ばすなどした方がいいと思います。この件について、事務局や美旗の運営審議会の方はどのように考えているのでしょうか。

部会長 存じ上げております。はたっこ号は沿線上にオークワさんがあるので、そこに乗り入れるように時刻を調整するか、新しいところに停まるかということも議論していくのか、一番鍵になるのは地域なので、その地域の方がどこに行きたいと思っているのか、あるいはもっと違うところまで延ばしてほしいのかという需要について、地域でよく話していただくべきだと思います。

委員 閉館の時期について知らされたのが急だったので、住民も困っています。

委員 近鉄プラザが撤退した後も、スーパーはできるという話でしたが、それもなくなりました。桔梗が丘の自治連合協議会から、市長を通じてお願いもしたのですが、どうなるのかはわかりません。

委員 それは政治的な話になるので、この場で議論するのは少し違うと思います。

乗降状況を見ていた時に、道城山口や上小波田中央は、昨年度から新設したバス停だと思えますが、乗降人数が1パーセントしかないというのは、まだまだ浸透していないと考えます。それに対して、きじが台市民センターやエクセル入口など非常に乗降者が多いのは、公共交通がないととても不便な地域になっているので、高齢者の方にとって生活の足になっていると見受けました。池の台や道城山口、上小波田中央はいくら国道に面しているからといって、住民の年齢構成等考えていくと、まだまだ伸びしろがあると思いますので、今後増加していくのではないかと思います。また、先ほどありましたように、利用目的の多くは買い物と通院と乗り継ぎになると思いますが、このバスが運行されることによって高齢者の方が少しでも外に出るきっかけになるという見方をしますと、現状で乗降者の少ないところはこれからも動向を見ていく必要があると思います。

部会長 乗降状況を見ますと、もっと細かく見ていく必要があります。例えば、年齢階層別にみて後期高齢者の方はこういう動きをしているということがわかってくるかもしれません。ただ、サンプル数が少ないので、どのようにまとめようかと思っているのですが、今はバス停の座標値をきっちり出そうと思いい現地へ出ているところなので、もう少し時間をいただけたらと思います。

委員 乗降状況の中で、木野整形外科の乗車が3パーセントで、降車が11パーセントなのはなぜでしょうか。

事務局 調査をさせていただいている中での感想になりますが、皆さんお元気なので、行きは木野整形外科で降りて診察をすまし、近鉄プラザまで歩いて桔梗が丘駅から帰るという動きもあるようです。その分桔梗が丘駅での乗車が多くなっていると思います。

委員 その間にほかの病院もありますし、歩く方もいると思います。

委員 このはたっこ号のワークショップは今後ほかの地域でも同じようにしていくのですか。他の

地域でも生の声を聞いていってほしいです。

事務局 はたっこ号をモデルケースとして、全線で実施していく予定です。

委員 ナッキー号でも実施していただきたいです。車両が小さいと思うので2台目を検討してほしいです。

事務局 ナッキー号の場合、広い範囲を走っていますので、ワークショップの開催方法等について、今後検討していきたいと思います。

委員 第1回のワークショップの参加者は何人でしたか。

事務局 17名です。乗込み調査で参加意向をいただいた方全員にご案内とお電話で確認したところ、ほとんどの方から来てもらえるという返事をいただきまして、たまたま予定が合わない方以外にはご参加いただきました。3グループに分かれてさせていただきまして、きじが台の役員さんにも急きょご参加いただき、事業推進部会からも1名ご参加いただきました。

### (3) その他

部会長 議事の1番については、事務局の方でもう少し練っていただいて、また提出していただけるということで、2番については、2回目のワークショップが開催され、松本先生の方から案が上がってきますのでそれについて議論していただくということになるかと思います。最後に、委員の方からご報告があるということで、お願いします。

委員 先日、市議会に対して請願書を提出いたしました。3年前から有志の皆さんが集まって「市民の交通をよくする会」を立ち上げ、名張市の公共交通をなんとか改善できないかということで取り組んできました。その後公共交通会議の市民公募があるということで参加させていただいております。3年ほど前から活動しておりまして、2回ほど都市計画室へも出前トークを希望させていただきました。また、コミュニティバスの運営主体の責任者の方ともお会いして、実情についてもお聞きしてきました。玉城町のオンデマンドバスの見学にも行きました。この間市議会のほとんどの議員さんと面談やお電話をして、議員さんはどのような認識をお持ちなのかをお聞きしてきました。感触は、ほとんどの議員さんは、今の交通システムの抜本的に考え直す時期に来ているのではないかというものでした。市民の交通をよくする会でずっと議論をしてきましたのは、各路線をより良いものにするのと同時に、一番合理的で経済的で整合性のあるあり方はなんであろうということでしたので、この点について市議会議員さんと意見交換をしました。請願書の表題は、「名張市における公共交通システムの再構築を要望する請願書」として、抜本的に考え直すということを請願として書いています。主旨は、地域公共交通について、現行政機関の機構をより一層強化し、円滑かつ迅速に公共交通システムの再構築がなされるようお願い申し上げます。今の都市計画室の一担当の方だけではありません。もっと大きな構えで行政としてやっていくべきではないかという請願です。最終的には整合性が乏しい公共交通システムを、市民の誰もが納得する経済的で合理的で整合性がある新たな公共交通システムに一刻も早く改善されることを強く要望しますということで、議長に提出しました。議員の中で請願を受け止めてくれる方はいるような感触です。現時点で、三重交通と6つのコミュニティバスがあるので、決して広くない名張でこれだけのコミュニティバスの組み合わせを考えるのはかえってややこしくしている



と思います。もっとシンプルにすべきです。行政だけでは費用もかかりますので、地域とともに取組んでいかななくてはならないと思いますが、もっと簡単にしていくべきです。それをどういうシステムと呼ぶのかは分かりませんが、発着一覧表を見てみるとたくさんの発着がありますが、それはいい事でもあるし不合理なのかもしれません。利用者が増えないのはそのせいかとも思います。はたっこ号は黒字のようですが、300万円の予算があって成り立っている話だと思います。できるだけ経済的で合理的で整合性があるシステムを何とか市議会で行政に訴えかけて欲しいです。

委員 日付が抜けていますが、これは正式にはまだ上げていないものですか。

委員 市議会議員さんの署名、捺印はまだしていただけていません。ただ、していただける可能性は感触としてあると思います。

部会長 この会議の間では住民のニーズに応じていろいろな可能性を検討していきたいと思います。当然バスでなくてもいいですし、いろんなモードがありますので、それについても様々なところから考えていきたいと思います。それではこれにて平成29年度第5回名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了いたします。ありがとうございました。